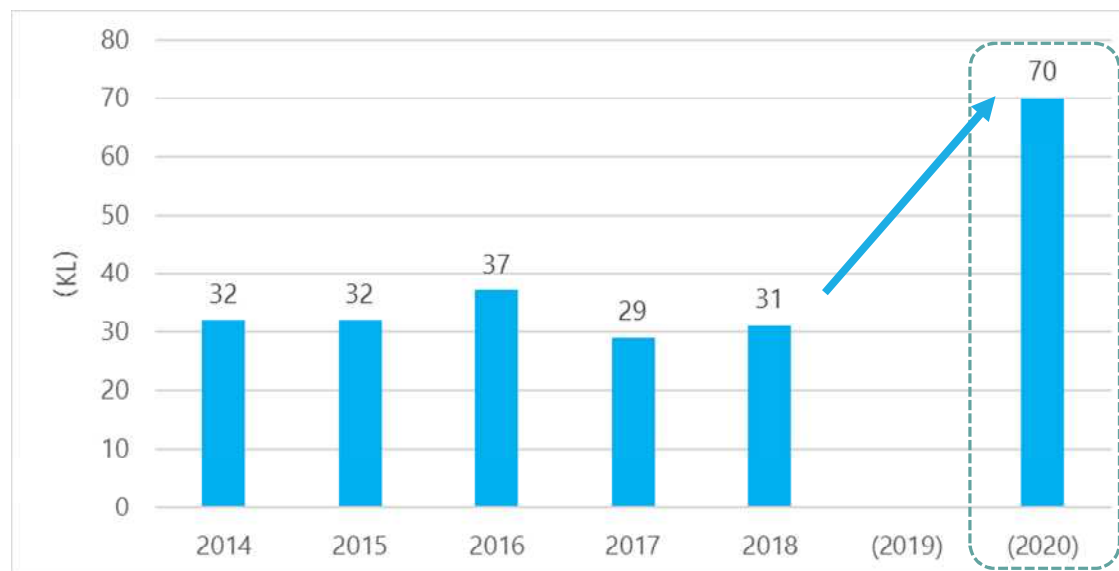


琉球泡盛海外輸出プロジェクト 2018年の実施状況 まとめ(19.04.14)

プロジェクト事務局

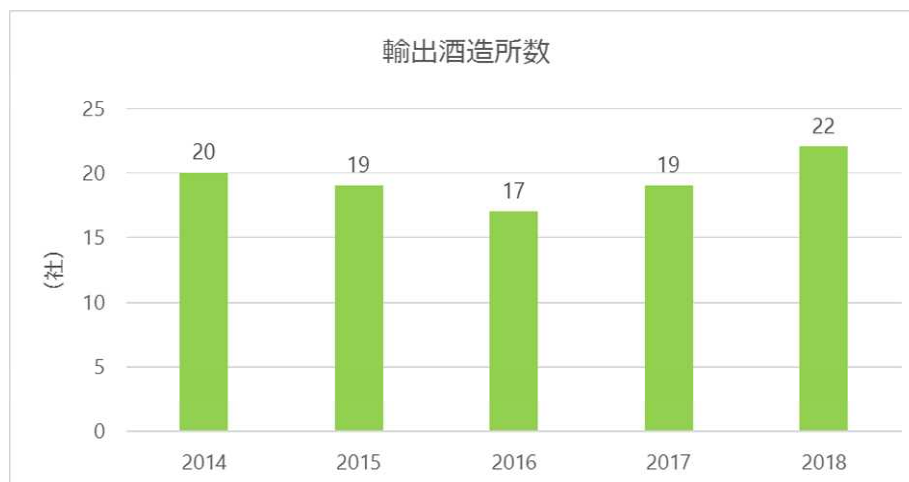
琉球泡盛の輸出状況



出典：沖縄県酒造組合調べ。(30度換算)

- 2018年は約31KL(対前年約6%増)にとどまる。
- 当面の目標である2020年に70KLを達成するためには、2年間で約39KLの増加(約2.3倍増)が必要。

酒造所別の輸出状況①



出典: いずれも沖縄県酒造組合調べ

酒造所別輸出数量の対前年増減(2018年)

数量増加	数量減少
15社	7社

■輸出国(平成30年時点) ※合計25の国・地域
 アメリカ、カナダ、メキシコ
 中国、台湾、香港、マカオ、韓国、シンガポール、マレーシア、タイ、フィリピン、ベトナム、パラオ、インド、ネパール
 ロシア、オランダ、スペイン、スイス、フランス、ベルギー、イタリア
 オーストラリア、ニュージーランド

- 2018年に輸出を行った酒造所は22社で、最近では最多。
- 2018年では15社(68%)が、輸出量で対前年を上回る

酒造所別の輸出状況②

2018年に輸出した酒造所別輸出数量増減の要因(複数回答)

増加要因	回答社数
インバウンド観光客の増加(輸出免税)	2
全体として増加	1
中国での増加	2
台湾での増加	1
韓国での増加	1
オーストラリアでの増加	2
イギリスでの増加	1
イタリアでの増加	1
アメリカ(ハワイ)での増加	1
トライアルキャンペーンの効果	1

減少要因	回答社数
全体として減少	1
中国で減少	2
台湾で減少	2
アメリカで減少	3
商品性の変化(高単価商品へシフト)	1

出典: 沖縄県酒造組合調べ

- 輸出数量の減少の要因として、商品性の変化(少量で高額の商品へのシフト)のほか、現状で数量が把握されていない泡盛ベースの「リキュール」や「原料用アルコール」商品へのシフトがある可能性がある。

支援の状況①

琉球泡盛海外輸出プロジェクト「行動計画」による支援メニューの実施国・地域

アジア	アメリカ	欧州	その他
中国	アメリカ	イギリス	インバウンド
香港	ブラジル	フランス	
マカオ	メキシコ	アイスランド	
台湾		デンマーク	
韓国		オランダ	
シンガポール			
タイ			
ベトナム			
インド			

出典:プロジェクト事務局調べ。

- 2018年度で17の国・地域及びインバウンド(国内)で展開。

支援の状況②

2017～2018年に輸出を行った酒造所(23社)に対する琉球泡盛海外輸出プロジェクトによる支援の状況

概況	社数
支援を受けた	19
輸出が拡大した	12
輸出が減少した	7
支援を受けていない	4
輸出が拡大した	3
輸出が減少した	1

出典：沖縄県酒造組合及びプロジェクト事務局調べ。

注) 支援策は、国内におけるインバンド向けのプロモーション等は除く。

上記のほか、2017～2018年に輸出を行っていない酒造所(10社)も支援をうけている。

- 2017～2018年に輸出を行った酒造所の約8割が、プロジェクト「行動計画」の支援メニューにより支援を受けている。
- 一方で、その現時点で効果が発現していないと推測されるものは、その約4割。
- 2017～2018年に輸出を行っていない酒造所(10社)も含めると、29社が支援を受けている。(全泡盛酒造所の約6割)